

第5学年1組 外国語科学習指導案

令和3年11月17日(水) 4校時
男子19名 女子21名 計40名
指導者 HRT: 山口亜希

1 単元名 Unit6 What would you like?

2 単元の目標

- ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりする語句や表現を身に付けている。活字体の大文字と小文字について理解している。 【知識及び技能】
- ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりする目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、たずねたり答えたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】
- 他者に配慮しながら、主体的にていねいに注文をしたり値段をたずねたりしようとしている。英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

○単元観

本単元は、レストランを題材とし、注文の際の店員とお客の会話を通して英語にも場面に応じて日本語と同じようにていねいな表現があることに気づかせ、ていねいに欲しい物を注文したりたずねたりする表現ができるようにする単元である。自分が注文したい物や、友達が注文したい物をお互いに伝え合う活動を通して、自分のことを知ってもらい喜びや友達のことを知る楽しさを味わい、相手意識を持って積極的にコミュニケーションを図ることができる価値ある単元である。前単元までに、誕生日に欲しい物をインタビューする際のたずね方や答え方を学習し、友達が欲しい物をたずねたり答えたりする活動を行ってきた。本単元は、前単元までに学習してきた「好きなことや好きな物」「誕生日に欲しい物」「夢をかなえるために勉強したいこと」などの学習を踏まえ、自分の思いを伝えようとする表現が可能である。レストランやピュッフェといった、今後経験するであろう場面を想定し、何を注文したいか考えることは、児童にとって身近なことであり意欲的に取り組むことができると考える。また、前学年で「What do you want?」の表現を既に学習していることから、「What would you like?」と比較して扱うことで、英語にも日本語と同じようにていねいな表現があることに気付くことのできる構成となっている。

○児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。

	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
①外国語の学習は好きですか。	11人	20人	5人	2人
②外国語の学習は得意ですか。	3人	14人	16人	5人
③外国語は大切だと思いますか。	30人	5人	2人	1人

以上の結果から、本学級の児童は学習に意欲的に取り組むことができ、外国語の学習にも楽しく参加しているが、自分の考えや思いを積極的に表現することに自信がない児童も見られる。自分の話す英語が相手に伝わった喜びを十分に感じていない児童がいることが判断でき、苦手意識につながっていると考えられる。全体的に見て、少しずつみんなの前で話したり発表したりすることに抵抗がなくなってきたが、中には発音することに慎重になり、自信を持って活動ができなくなってしまう児童もいる。しかし、外国語の学習は大切だと答えた児童が多いことから、外国語を学習する必要性を感じていることがわかる。

○指導観

指導に当たっては、まず、注文をする時や会計をする時に必要な表現に十分慣れ親しませる。ALT の発音をしっかりと聞かせ、自信をもって発音できるようにする。本時では、自分が注文したい料理を選択して注文したり、店員となって注文を受けたりする活動を通して、目的や状況に応じて自分の思いを伝え合えるように仕組んでいく。前單元までに学習した表現を生かしながら、さらに会話を豊かにするための英語表現を紹介することで、児童が必要なときに活用できるようにする。單元終末では、ALT に日本のおいしい食べ物のことを知ってもらうために「ALT に、日本のおいしい食べ物を紹介しよう！」という活動を設定することで、目的意識を持って取り組めると確信する。

4 取り扱う言語材料

What would you like? I'd like ~.

<Picture Dictionary> P8(food)

rice, rice ball, curry and rice, grilled fish, bread, sandwich, pancakes, pizza, hamburger, hot dog, French fries, pie, fried chicken, sausage, steak, omelet, spaghetti, salad, soup

<Picture Dictionary> P9(drinks)

coffee, tea, green tea, juice, soda, milk, water, mineral water

<Picture Dictionary> P9(dessert)

cake, parfait, pudding, ice cream, shaved ice, chocolate, popcorn, snack food

How much is it? It's 800 yen.

(既習事項も含めて児童が使いたい表現を扱う。)

5 単元計画 (全8時間) 本時 5 / 8

	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ・ 2	ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりするやり取りのおおよその内容を理解する。	○		○
3 ・ 4	ていねいな表現で、注文したり会計したりする。 What would you like? / I'd like~.	○	○	
5 ・ 6	「お気に入りのメニュートレイ」を作るために、自分の好きな食べ物などを選ぶ言い方に慣れ親しみ、買いたい物をたずねたり答えたりする。 <本時>		○	
7 ・ 8	世界の食文化などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。			○

※単元のゴール・・・新しいALT()先生に、日本のおいしいものを紹介しよう!

6 本時の学習 (5 / 8)

(1) 目標

自分の好きな食べ物などを選んで「お気に入りのメニュートレイ」を作るために買い物をする。

【思考・判断・表現】

(2) 視点

レストランという場面を設定し、自分が食べたい食べ物などを注文し合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、やりとりをすることができたかを検証する。

(3) 展開

過程分	児童の活動	支援及び指導上の留意点	備考	
	学 習 活 動	HRT		
Warm up ⑩	1 Greeting ○あいさつをする。 Let's start English. ○気分、天気、曜日、日づけなどを答える。 2 Small Talk ○ペアで、好きな～について話す。 What food do you like? I like~. 3 単元のゴールを確認する。	○ あいさつをしたり、気分、天気などをたずねたりする。 ○ ジェスチャーを交えて、ゆっくり話す。 ○ リアクションや、くり返しの表現を使って、会話をつなげさせる。 ○ 単元の終末で、ALT に日本のおいしい食べ物などを紹介することを確認する。	文カード	
	4 Today's goal ○本時の課題をつかむ。	○ ある先生の「お気に入りのメニュートレイ」を紹介し、課題につなげる。		メニュートレイの絵
	食べたいものなどを考えて、お気に入りのメニュートレイを作ろう。			
Main act 1 ⑤	5 Practice ① What would you like? I'd like~. How much is it?の練習をする。 ②グループで輪になり、リズムに乗ってやりとりをする。	○ 注文するときや値段を聞くときのやりとりに必要な表現を確認する。 ○ What would you like?の表現を受けて、I'd like~.でくり返させることで、色々なパターンに慣れさせる。 ○ グループを回り、一緒に発音したり賞賛したりする。	注文の約束	
	6 Activity ○グループに分かれて、買い物をし合う。 A: What would you like? B: I'd like~. A: 注文の確認。 B: How much is it? A: ○○ yen, please. B: OK! Here you are. A: Thank you. など	○ 買い物のデモンストレーションをする。 ○ 買い物をする内容（食べ物・飲み物・デザートから各一つ）や、値段の設定（1000円以下にすること）を確認する。 ○ グループを回り、戸惑っている児童と一緒に発音したり、頑張りを賞賛したりする。 ○ コミュニケーションポイントを意識して、やりとりをしている児童を紹介する。 <視点>		
Main act 2 ⑳	7 Writing ○本時で学習した英文を書き写す。	○ ていねいに書き写している児童を賞賛したり書くことに戸惑っている児童の支援をしたりする。	ワーク	

Looking back	<p>8 Looking back</p> <p>○ 本時の振り返りをする。</p>	シ ト
	<p>9 Good-bye</p> <p>○ 終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's finish. ・ See you next week. 	

⑩

(4) 評価

レストランという場を設定し、自分が食べたい食べ物などを注文し合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、やりとりをすることができたかを、行動観察・自己評価カード点検で評価する。 【思考・判断・表現】

(5) 板書計画

単元のゴール・・・ALTに、日本のおいしい食べ物を紹介しよう。

Today's goal	食べたいものを考えて、お気に入りのメニュートレイを作ろう。
--------------	-------------------------------

<p>Small Talk</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What food do you like ? B: I like ~. A: 反応 You like ~ B: Yes! など</p> </div>	<p>Activity</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★注文や会計に必要な表現。</p> <p>★注文するときの約束など。</p> </div>	<p><メニュートレイ></p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">飲み物</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">食べ物</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="text-align: center;">デザート</td> </tr> </table>		飲み物		食べ物		デザート
	飲み物							
食べ物		デザート						

7 授業考察

(1) 授業の視点

レストランという場面を設定し、自分が食べたい食べ物などを注文し合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、やりとりをすることができたかを検証する。

(2) 授業研究より

< Small Talk >

- コミュニケーションのよきモデルとしての児童の姿が示されていた。
- 児童と教師がゴールの姿を共有できているため、次にやることが明確で児童の主体的な学びにつながっていた。(モデルを示すことで、ゴールが明確であった。)
- 児童が、授業の流れにスムーズに活動できていて、テンポよく進んでいた。

< Main act >

- 児童自身がデモンストレーションをすることで、身近なモデルとしてよき手本を示すことができた。他の児童の意欲にもつながった。
- 状況がつかみやすく、よいコミュニケーションができていた。場面設定に入り込んでいた。
- 店員・お客のコミュニケーションポイントが明確であった。
 - ・店員・・・ていねいに、やさしく
 - ・お客・・・はっきり、ゆっくり
- 場面設定の工夫により、英語でのていねいな表現(What would you like?)を意識し積極的に使っていた。
- コミュニケーションポイントを意識して活動している児童を紹介することで、他の児童の意識が高まった。
- グループ活動では、役割分担がスムーズで全員が店員とお客の両方の会話が経験できた。
- 一連のやり取りの流れが一つ一つの表現を使う(話す・聞く)ために、主体的に取り組むよう仕組まれていた。

◎目的意識を持って楽しそうに活動 ◎学んだことを生かして自分なりに考え表現

- 普通の表現とていねいな表現を本時の中で再度紹介すると、より「ていねいに」表現することにつながったのではないだろうか。
- クリスティーナ先生に紹介しようという相手意識は、どれくらい持っていたのだろうか。
- 目的や状況に応じた表現を考え・・・」の思考の部分の評価(見取り)が難しい。今回はていねいな表現「What would you like?」の表現で判断できるのではないだろうか。※評価のあり方について研究を深めていく。

< Looking back >

- 単元の流れが分かり、前時までと本時の学習が同時にふり返ることができ、成長が感じられる。